



発行 全国治水期成同盟会連合会

東京都千代田区平河町2-7-5 (砂防会館内)  
電話 03(3222)6663 FAX 03(3222)6664

編集・発行人 大場真弥  
印刷所 株式会社白橋印刷所

会員(定価1部100円) その他一般(定価1部150円)  
毎月1回15日発行

# 新潟・福島豪雨および福井豪雨により 被災された方々に心からお見舞い申し上げます



五十嵐川左岸三条市の浸水状況 (北陸地方整備局提供)

## 目次

就任挨拶	国土交通省河川局治水課長 柳川 城二	2
地方六団体に国庫補助負担金に関して緊急提言		3
治水事業を巡る課題	河川局治水課	4
新潟・福島豪雨及び福井豪雨の災害	河川局治水課	10
堤防等の河川管理施設の緊急点検について	河川局治水課	19
地方からの声		
川の町	全国治水期成同盟会連合会監事 三本木町長 佐藤武一郎	20
河川愛護月間をかえりみて	河川局治水課	22
第55回利根川治水同盟治水記念大会の開催		24
全水連だより		24

## 就 任 挨 拶



国土交通省河川局  
治水課長 柳 川 城 二

7月1日付けで治水課長を拝命いたしました柳川でございます。どうぞよろしくお願いたします。

すでにご案内のとおり、7月13日には新潟で、18日には福井で記録的な集中豪雨による大きな災害がありました。私も着任早々ではありましたが政府の調査団の一員として、また、石原国土交通大臣に随行して災害発生直後に新潟の被災地を訪れましたが、水害の爪跡を間近に見て自然の猛威の怖さを実感するとともに、治水事業に携わる者の一人として、その責任の重さと使命の重大さをあらためて認識したところであります。

ここ数年、今回のような集中豪雨が各地で頻発していますが、新潟、福井のような豪雨災害が他の地域で起きない保証はまったくありません。治水対策には長い年月がかかりますが、国民の生命と財産を守る安全・安心の基本的な施策として、着実な取り組みが必要であることは今更言うまでもありません。

現在、概算要求の時期でもあり、全国各地から市町村長さんや議員さん、治水事業の促進期成同盟会

の皆様方が、連日のように治水事業促進の要望に見えられます。それぞれが切実な内容であり、その一つ一つにしっかりとお応えしなければならないと思っておりますが、一方で、公共事業費が年々削減され、治水事業も大きな影響を受けています。経済財政諮問会議において、公共投資は景気対策のための大幅な追加が行われていた以前の水準を目安に縮減を図るとされていますが、平成16年度予算はすでにその水準に戻ったと理解しています。安全・安心の基盤である治水事業予算が際限なく削減されることがないよう、その重要性を粘り強く訴えていくことが必要と思えます。また、現在、補助金改革を含む三位一体改革の取り組みが議論されていますが、改革という以上、改革後の姿がすべての地域やすべての人々にとって歓迎されるものとなるよう、関係者間で十分な議論が行われることが必要と考えます。

厳しい条件下ではありますが、わが国の治水事業の発展のため、全力を尽くす覚悟でございますので皆様方のご指導、ご鞭撻をお願いいたしましてご挨拶とさせていただきます。

# 地方六団体に国庫補助負担金に関して緊急提言

## — 全水連理事会で決議採択 —

政府は、国と地方の税財政を見直す三位一体の改革について、6月4日閣議決定された「基本方針2004」（骨太の方針）で、概ね3兆円規模の税源移譲を目指し、その前提として国庫補助負担金改革の具体案を8月20日までに、全国知事会等の地方六団体が取りまとめるよう要請されました。

これを受けて、地方六団体が取りまとめの議論に入る機会に合わせて、全国治水期成同盟会連合会として何らかの意思表示をすべきという意見から、急遽理事会を開催し、その決議をもって「提言」を行うこととなりました。

1. 先ず、三位一体改革に関連した動きは、次のとおりです。

6月4日(金) 基本方針2004（骨太の方針）閣議決定

7月5日(月) 全水連理事会で「提言」を採択  
6日(火) 全国知事会等地方6団体に「提言」を持参

同時に全国知事会会長等地方6団体の長に送付

また、各都道府県、市町村等の会員に送付

7日(水)～15日(木)

全国市長会、全国町村会、全国知事会等の開催

27日(火) 「平成17年度予算の全体像」取

りまとめ（経済財政諮問会議）

30日(金) 平成17年度予算概算要求基準閣議了解

8月18日(水)19日(木)

全国知事会国庫補助負担金改革案取りまとめ（予定）

20日(金) 地方6団体国庫補助負担金改革案提出期限

### 「基本方針2004」関係部分抜粋

(三位一体の改革)

- (前略)……国と地方を通じた簡素で効率的な行財政システムの構築につながるよう、平成18年度までの三位一体の改革の全体像を平成16年秋に明らかにし、年内に決定する。……(後略)。
- 全体像には、以下の点に留意しつつ、平成17年度及び平成18年度に行う3兆円程度の国庫補助負担金改革の工程表、税源移譲の内容及び交付税改革の方向を一体的に盛り込む。
- そのため、税源移譲は概ね3兆円規模を目指す。その前提として地方公共団体に対して、国庫補助負担金改革の具体案を取りまとめるよう要請し、これを踏まえ検討する。

2. 次に、役員会で採択された決議内容は、次のとおりです。

## 三位一体改革全体像の検討に向けての提言

我が国は、そのおかれた気象条件、地形条件の厳しさから、治水対策は常に国家の最重要課題であり続けてきた。現在においても、全国各地で水害が発生し、幾多の生命と貴重な財産が失われていること、地球温暖化等気候変動の影響により水害の危険性は増大する可能性まであることを考えると治水対策の重要性は更に増大しているといえる。

それにもかかわらず、この数年の間治水関係事業費が

大きく縮減されており、特に、平成16年度予算は「三位一体改革」の初年度として、治水事業に関わる補助金が大幅に縮減された一方で、公共事業関係費の財源の多くを建設国債に依存していることから、これに直接連動して税源移譲がなされるものではなく、全国で治水事業が停滞していることは全く憂慮に堪えない。

このたび、三位一体改革については全体像を本年秋に明らかにし、年内に決定する旨が「基本方針2004」に示

され、閣議決定された。これを受けて、政府より地方六団体に対して、国庫補助負担金改革について地方として統一した具体案をとりまとめるよう依頼があったところである。三位一体改革は正に国のかたちを定めるものであり、理念なき改革であってはならないことは言うまでもない。よって、前述の状況を鑑み、全国治水期成同盟会連合会として地方六団体に対し、以下の点を強く要望する。

一、三位一体改革は、この国のかたちを定めるものであり、国庫補助負担金の改革については税源移譲に結びつく改革、地方の裁量度を高め自主性を大幅に拡大する改革となるよう、本来の趣旨に沿って進めること。

一、治水事業は災害の発生等により、必要となる都道府県単位の年度事業費が大きく変動することがさげられ

ない。このため、国が必要な事業費の保証、調整機能を確認し、国庫補助負担金を機動的かつ重点的に措置することが不可欠である。従って、安全・安心な地域社会の構築に支障を及ぼし、地域間不均衡を生じることのないよう、治水事業に関する国庫補助負担金制度の堅持を図ること。

一、治水関係事業費は、既に景気対策を行った以前の水準を割り込んでおり、各地で治水事業の停滞による弊害が生じていることに鑑み、平成17年度治水関係事業費について、その必要額の確保を目指すこと。

平成16年7月5日

全国治水期成同盟会連合会

## 治水事業を巡る課題

河川局治水課

近年の災害の発生状況や、現在の三位一体改革・補助金改革の動きの中で、治水関係予算の確保の必

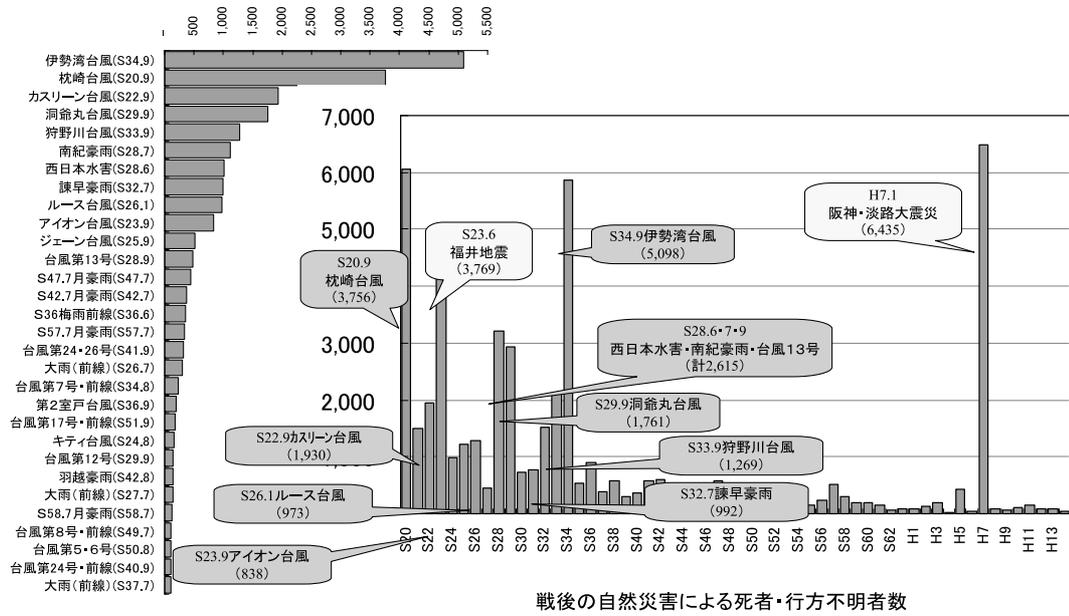
要性等についてご説明いたします。

### 治水事業を巡る課題

- 近年、既往最大規模の降雨を上回る豪雨の発生により、各地で水害（新潟・福島豪雨、福井豪雨（H16.7）、福岡豪雨（H15.7、H11.6）等）が多発。
- これらの流域では、これまでに発生した災害への対応に必要な治水対策が進んだことや、たまたま豪雨に見舞われていなかったこともあり、近年は大きな水害は発生していなかったが、今回の豪雨災害は、治水安全度を計画的に高めるための治水対策の必要性を改めて認識させるもの。
- 一方、治水関係予算は、景気対策のための大幅な追加投資が行われた以前の水準に削減されており、特に、補助事業については、昭和54年の水準まで減少。
- 今後、これ以上治水関係予算が削減されれば、治水安全度を計画的に高めるための治水対策はもとより、災害の再発防止のために緊急的に実施する事業も不可能な状態。

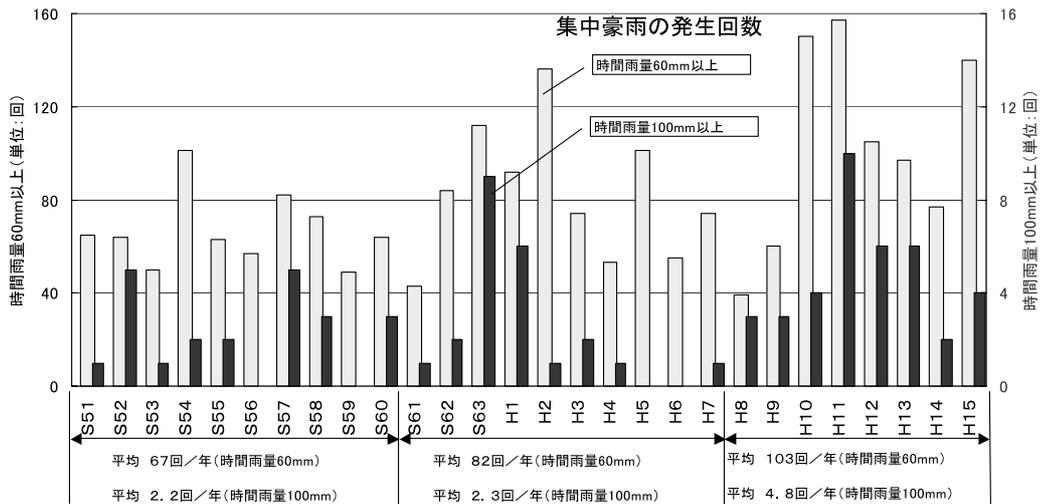
- 治水関係予算の必要額の確保。
- 治水事業に関する国庫補助負担金の制度の存続と必要額の確保。

### 戦後の大規模な風水害に関する考察



100名以上の死者・不明者が発生した戦後の水害

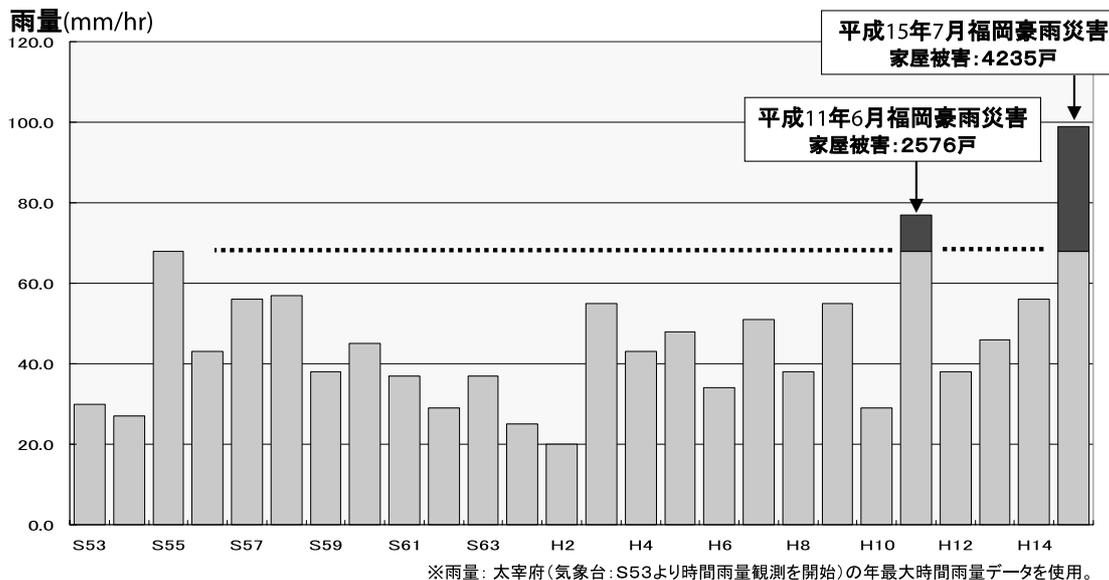
### 近年、集中豪雨が多発する傾向



※出典：気象庁アメダス(気象庁地域気象観測所：全国約1,300箇所)データ(S51～H15)に基づき国土交通省河川局にて整理

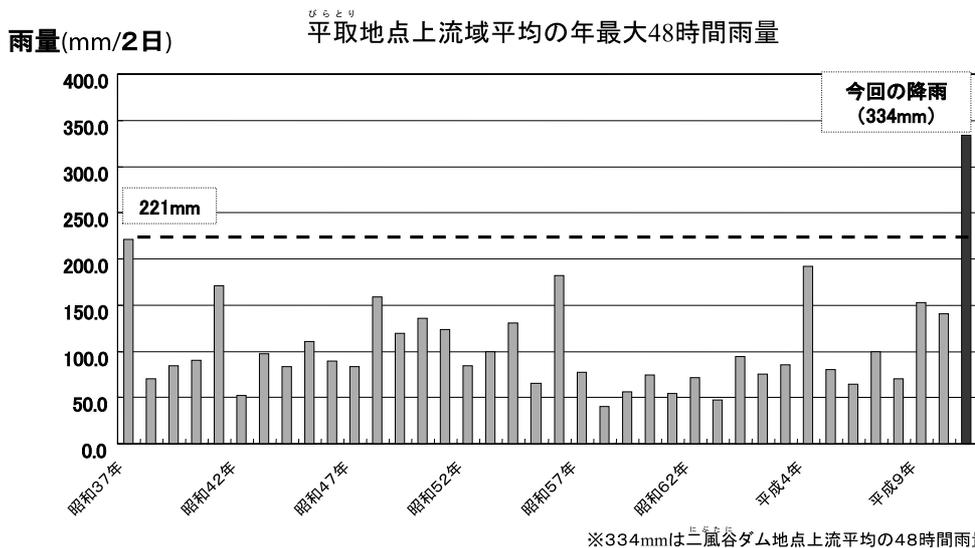
### 福岡県御笠川みかさかわにおける豪雨発生状況

御笠川流域では、平成10年代に入り、1時間雨量が80～100mmに達する猛烈な豪雨を立て続けに記録。博多駅や地下街が浸水するなど、都市機能に深刻なダメージを与えた。

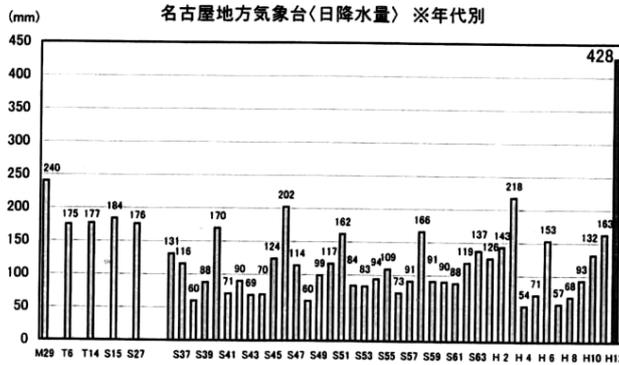


### 北海道沙流川さるかわにおける豪雨発生状況 (H15.8 台風10号)

札幌管区気象台によると、平取町旭ひらとりあさひの観測地点では8月9日一日の降雨量は年間平均1132mmの1/3強に当たる358mmに達し、記録を取り始めてから最高となった。



### 計画的な治水対策の遅れにより、多額の社会的損失が発生



※観測史上(明治24年から)第10位までの観測データ及び昭和36年以降の観測データより作成。

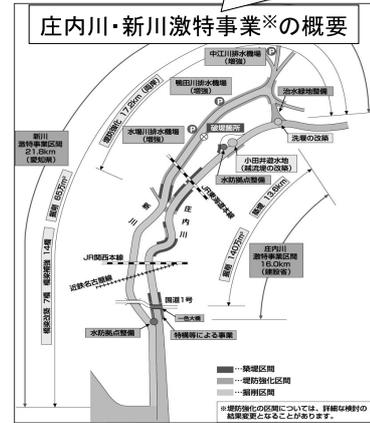
H12東海豪雨では、被害額(約6,700億円)の約1/10の投資(約726億円(激特事業※事業費))を被災前に行っていれば、被害を大幅に軽減することができたと推定。



天白区井の森町(平常時)

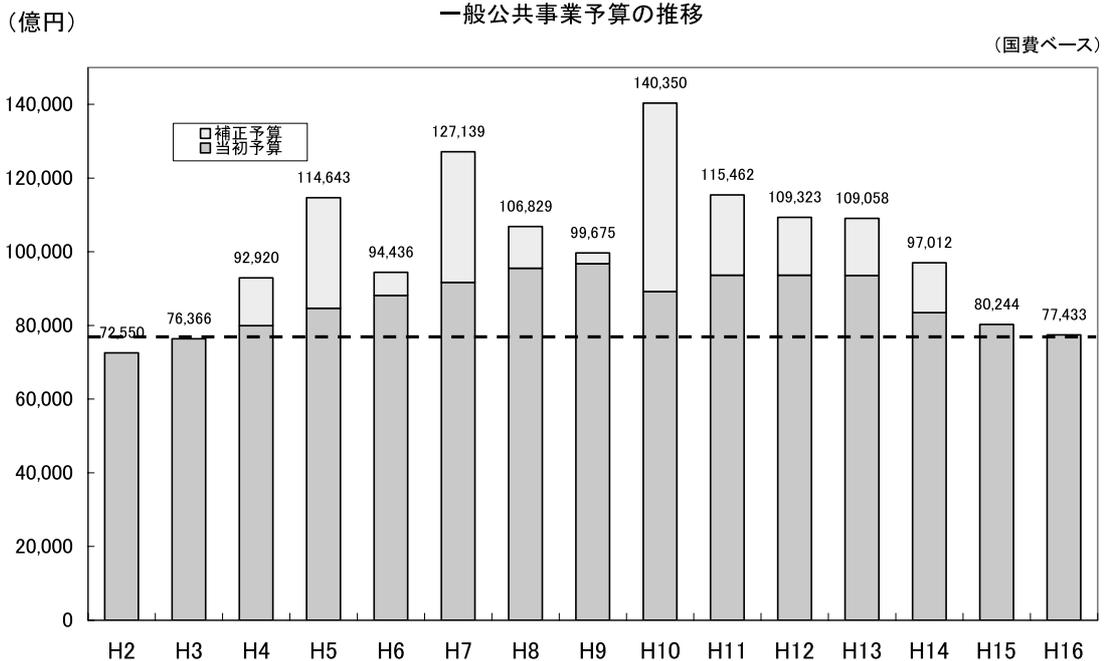


浸水時(平成12年9月12日)

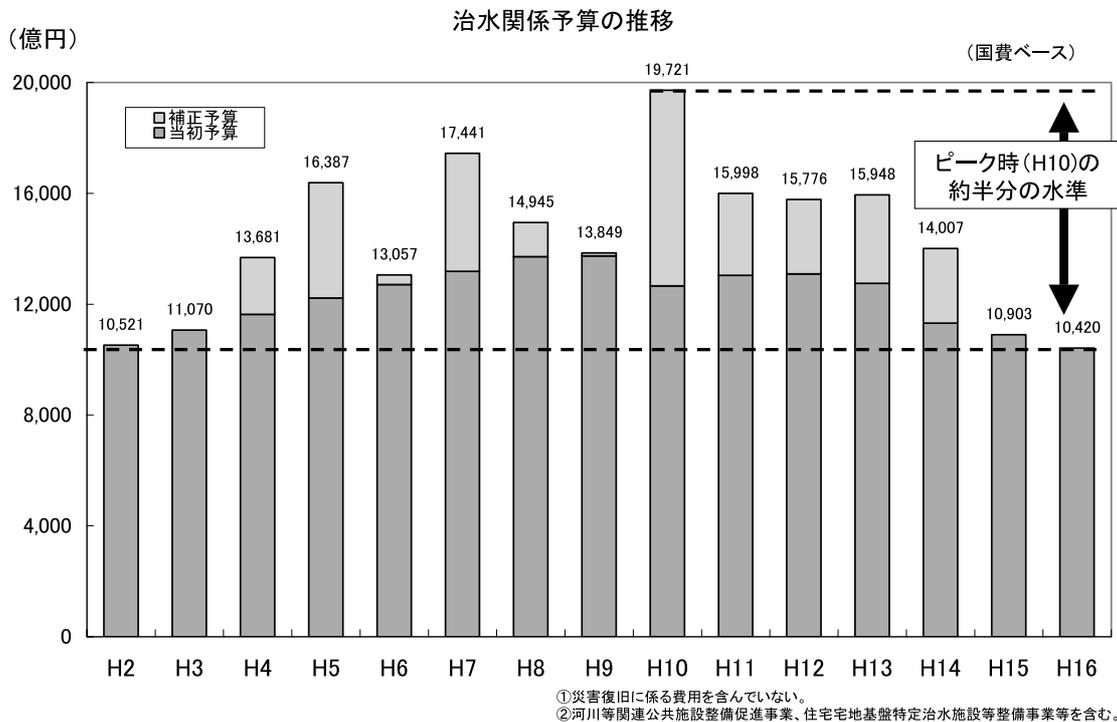


※激特事業:「激基災害対策特別緊急事業」(洪水、高潮等により激基な一般被害を被った河川について概ね5ヶ年程度を目途に、再度災害防止のため実施する河川改修工事。)

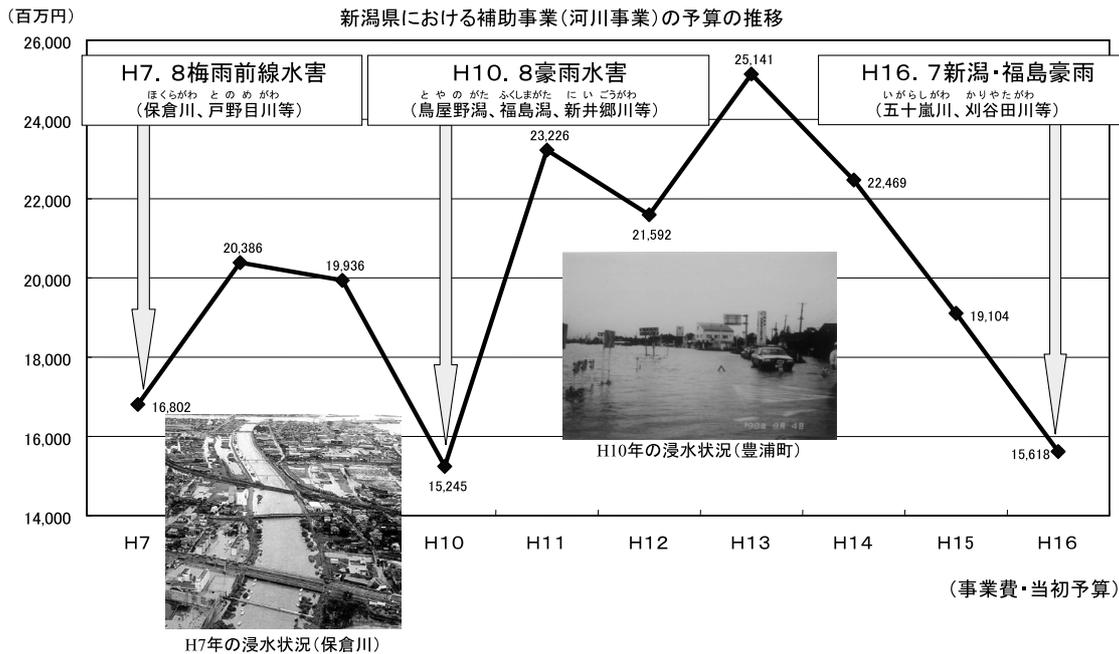
### 一般公共事業予算の推移



### 治水関係予算の推移

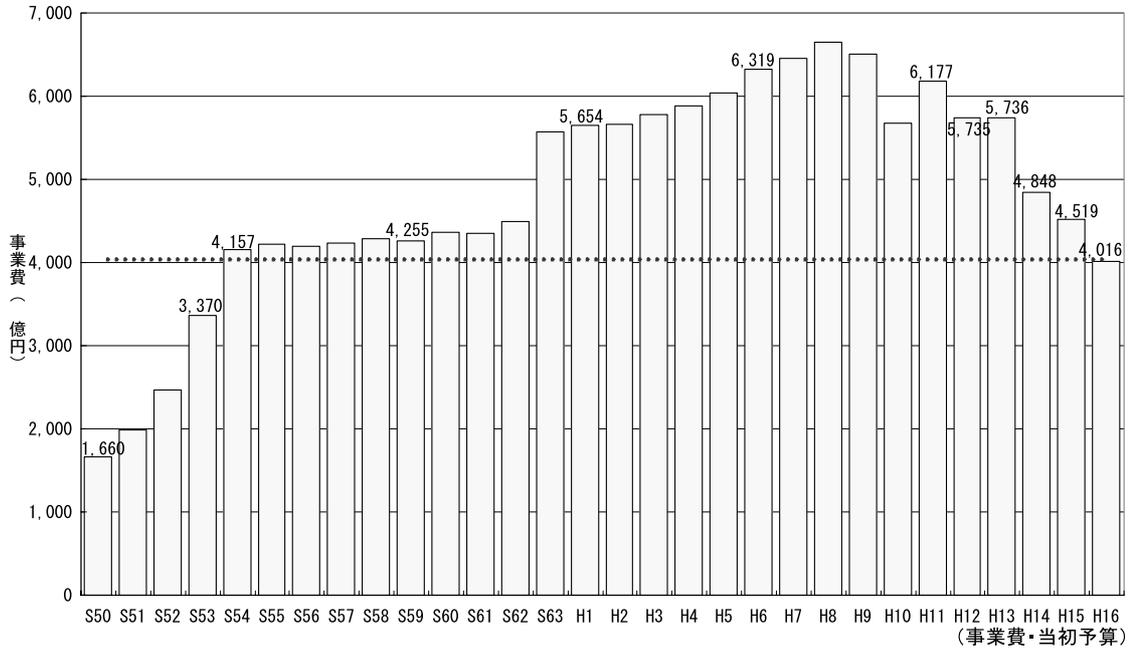


### 補助事業により機動的な対応が可能に ～新潟県の事例～



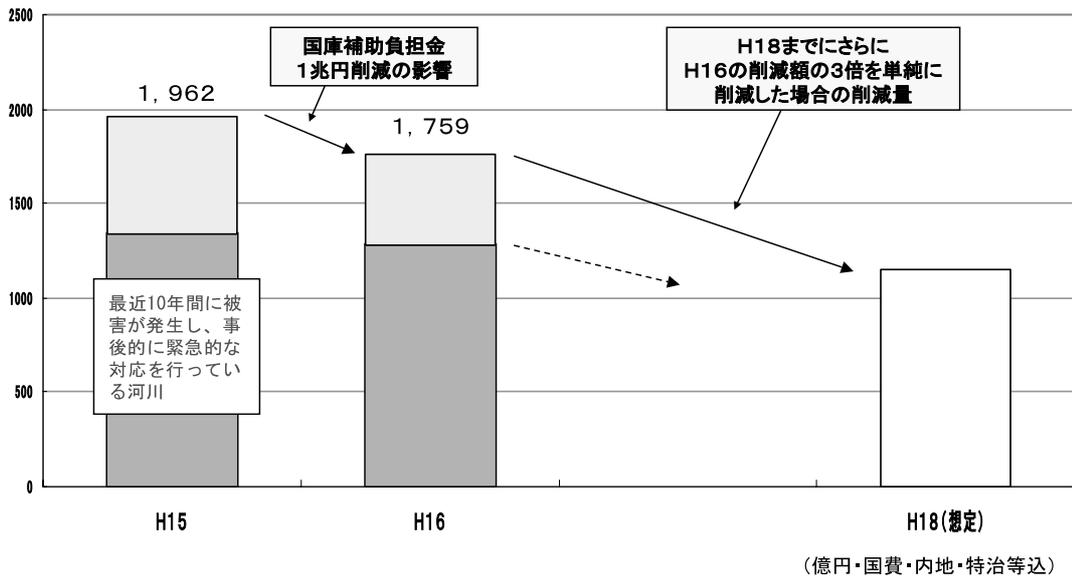
### 補助河川事業費の推移(S50~H16)

平成16年度の補助河川事業費は、昭和54年度並の水準



### 補助河川事業における問題点

補助河川改修事業については、このまま削減が続けば、治水安全度を計画的に高めるための治水対策はもとより、近年の被災への事後的・緊急的な対応にも支障。



# 「新潟・福島豪雨災害」「福井豪雨災害」(速報)

河川局治水課

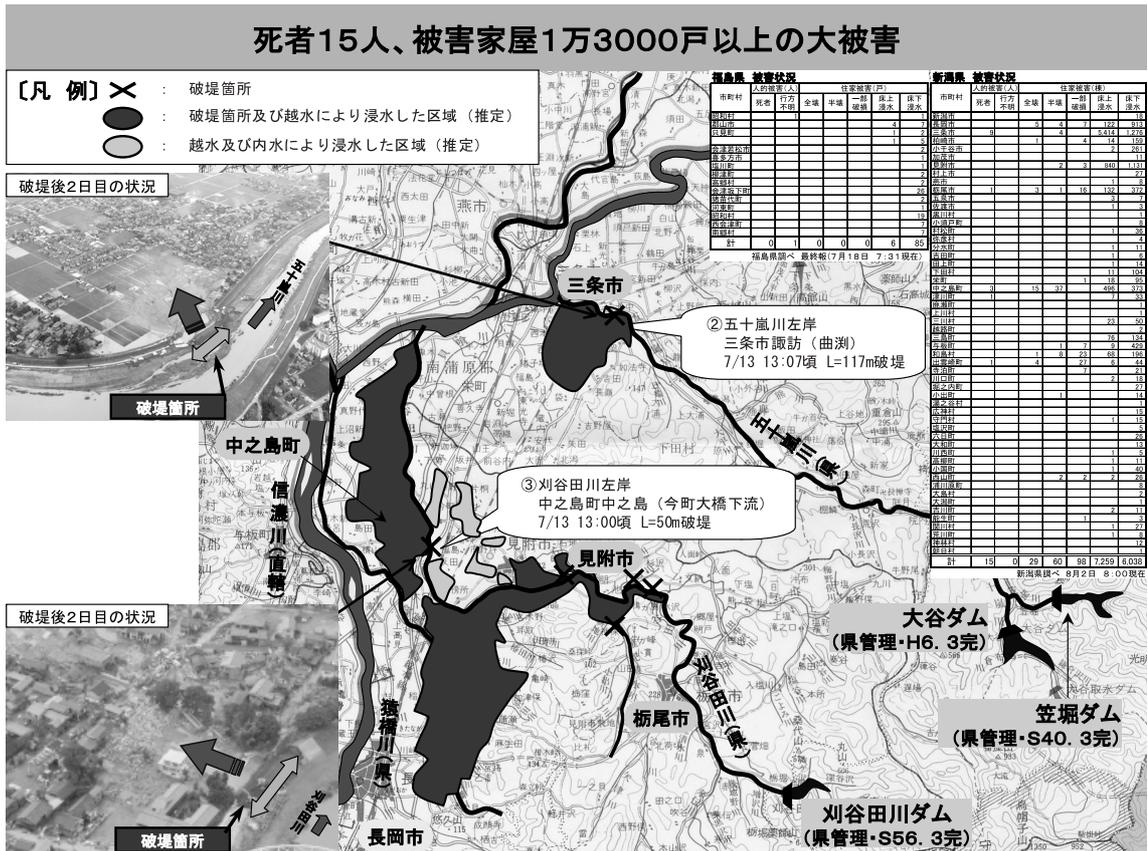
平成16年7月13日梅雨前線豪雨により、新潟県・福島県で、続いて18日には、福井県において大きな災害が発生しました。被災された方々にお見舞い申し上げますとともに、現時点での災害の状況、その

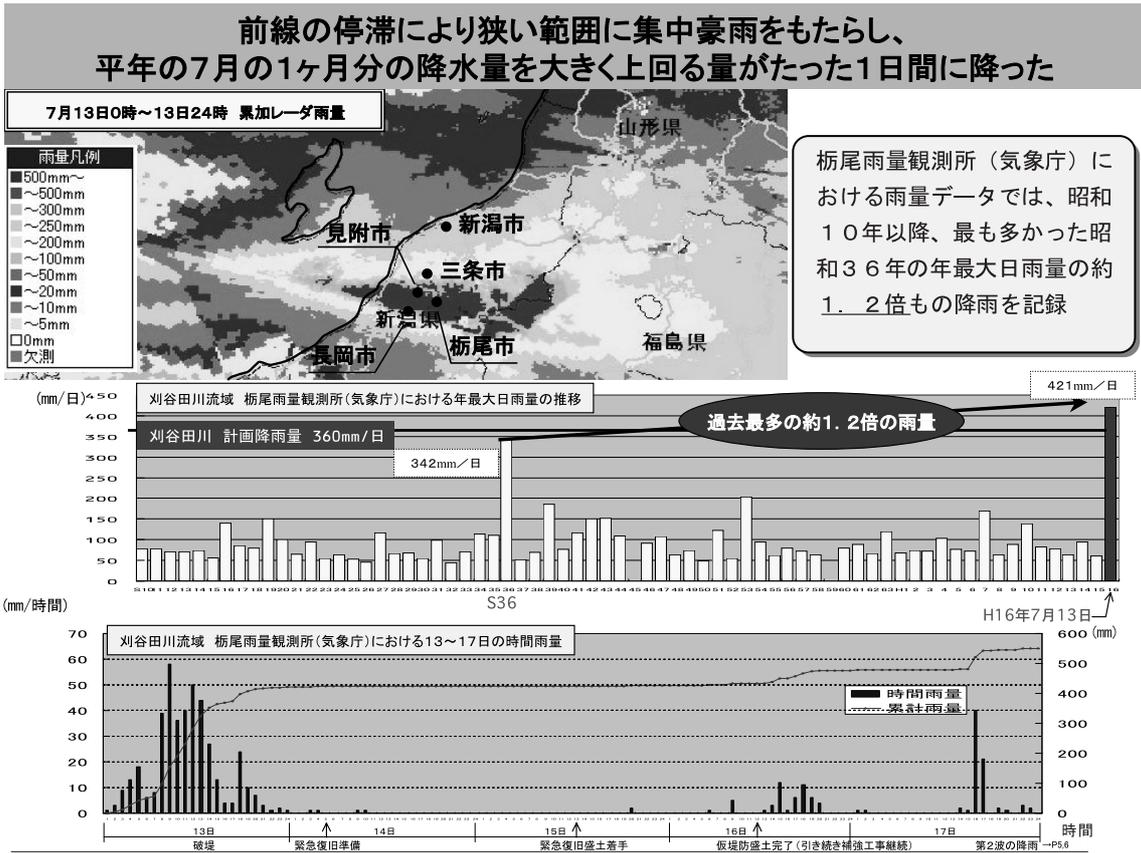
中で、ダムが果たした洪水調節効果などについてご紹介いたします。

なお、今後の調査により、数値等が変わることがあります。

## 〔新潟・福島豪雨災害〕







## ダムの洪水調節状況(新潟県) 最大限に機能を発揮

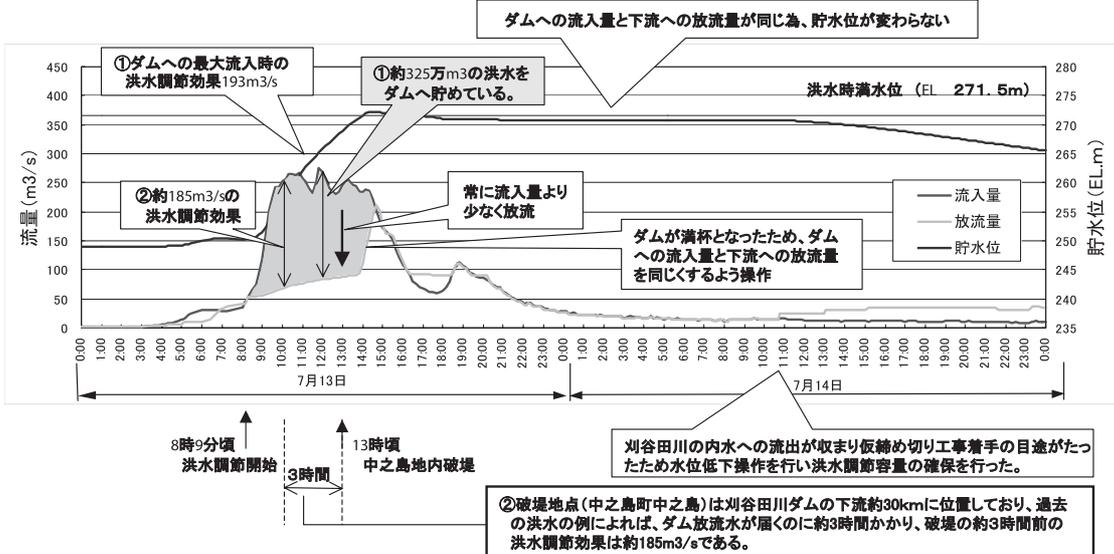
### 刈谷田川 刈谷田川ダム

①信濃川水系刈谷田川においては、刈谷田川ダムで193m<sup>3</sup>/s (最大流入量275m<sup>3</sup>/s → 放流量82m<sup>3</sup>/s) を調節しており約325万m<sup>3</sup>の洪水を貯留し、下流の氾濫量の軽減に寄与。

**速報** (7/30 9:00現在) 今後の調査により数値等が変わることがあります。

刈谷田川ダム諸元

総貯水容量	: 4,450千m <sup>3</sup>
洪水調節容量	: 3,250千m <sup>3</sup>
利水容量	: 900千m <sup>3</sup>
堆砂容量	: 300千m <sup>3</sup>
堆砂量(H15.11現在)	: 180千m <sup>3</sup>



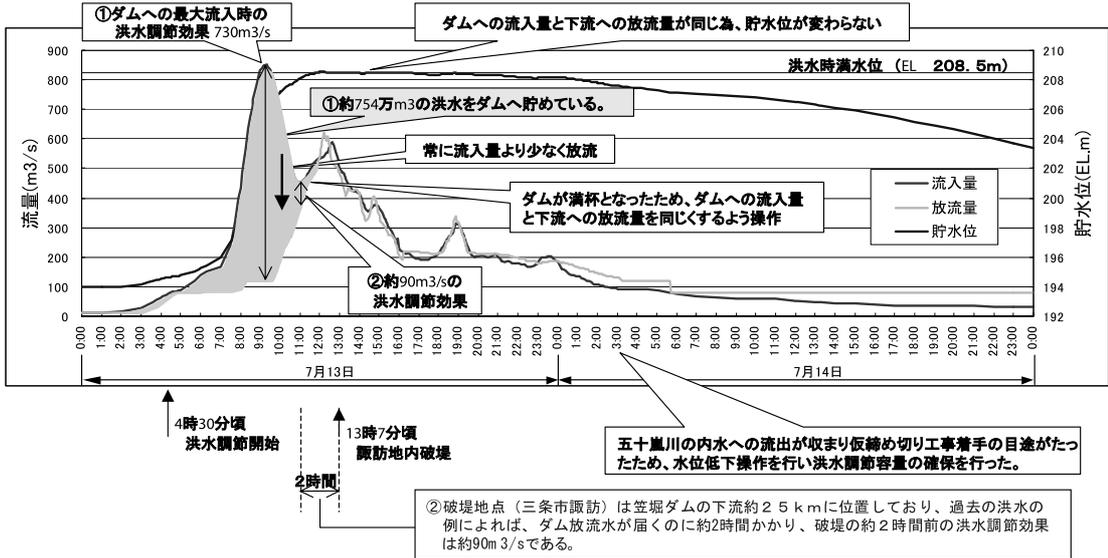
### ダムの洪水調節状況(新潟県) 最大限に機能を発揮

#### 五十嵐川 笠堀ダム

**速報** (7/30 9:00現在) 今後の調査により数値等が変更ことがあります。

①信濃川水系五十嵐川においては、笠堀ダムで730m<sup>3</sup>/s (最大流入量850m<sup>3</sup>/s → 放流量120m<sup>3</sup>/s) を調節しており約754万m<sup>3</sup>の洪水を貯留し、下流の氾濫量の軽減に寄与。

笠堀ダム	
総貯水容量	: 15,400千m <sup>3</sup>
洪水調節容量	: 7,600千m <sup>3</sup>
利水容量	: 5,700千m <sup>3</sup>
堆砂容量	: 2,100千m <sup>3</sup>
堆砂量(H15.8現在)	: 1,839千m <sup>3</sup>



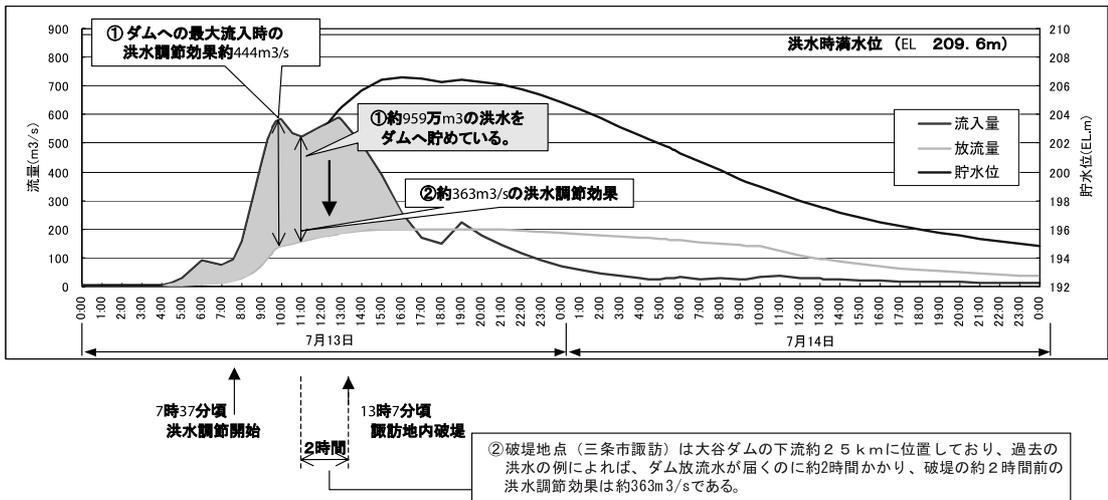
### ダムの洪水調節状況(新潟県) 最大限に機能を発揮

#### 五十嵐川 大谷ダム (自然調節: 固定の開口部を持つ、人による操作を行わない形態のダム)

**速報** (7/30 9:00現在) 今後の調査により数値等が変更ことがあります。

①信濃川水系五十嵐川においては、大谷ダムで444m<sup>3</sup>/s (最大流入量585m<sup>3</sup>/s → 放流量141m<sup>3</sup>/s) を調節しており約959万m<sup>3</sup>の洪水を貯留し、下流の氾濫量の軽減に寄与。

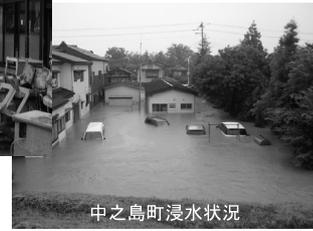
大谷ダム	
総貯水容量	: 21,100千m <sup>3</sup>
洪水調節容量	: 13,750千m <sup>3</sup>
利水容量	: 3,300千m <sup>3</sup>
堆砂容量	: 4,050千m <sup>3</sup>
堆砂量(H15.11現在)	: 971千m <sup>3</sup>



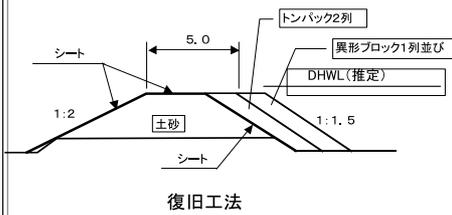
### 新潟県 破堤箇所の早急な復旧へ努力。国も技術的支援、資機材を提供。

—刈谷田川 中之島町— (第二波の出水に間に合い、被害の拡大を防止)

#### ◇被災状況◇



#### ◇復旧状況◇



7月16日 12:00 仮堤防盛土完了

早急な復旧により17日 21時30分頃のピーク水位にも対応

7月19日 12:50 仮復旧完了

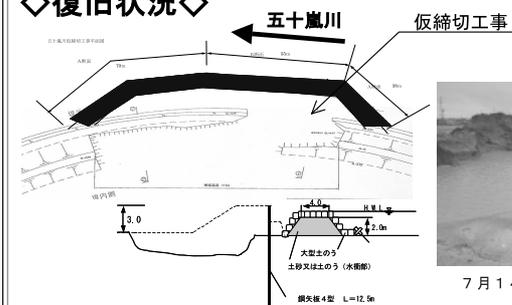
### 新潟県 破堤箇所の早急な復旧へ努力。国も技術的支援、資機材を提供。

—五十嵐川 三条市— (第二波の出水に間に合い、被害の拡大を防止)

#### ◇被災状況◇



#### ◇復旧状況◇



仮締切工事完了

7月16日 17:00 仮締切完了



早急な復旧により17日 19時00分頃のピーク水位にも対応

河川の水位が再び上昇

福島県 田付川堤防損傷箇所への復旧状況(喜多方市豊川地内)

◇被災状況◇



着工前 (7月17日16時撮影)



着工前 (7月17日16時撮影)

◇復旧状況◇



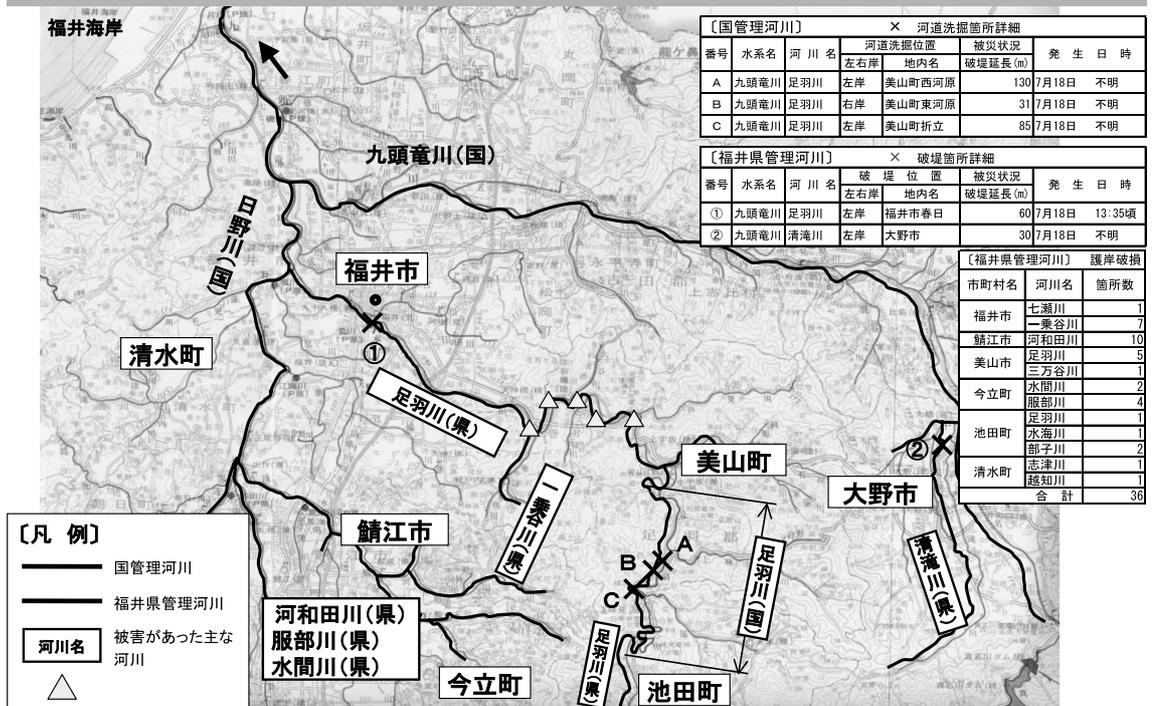
施工中



完了 (7月18日17時撮影)

[福井豪雨災害]

福井県管理の足羽川等で破堤2箇所、護岸破損や溢水等多数。  
 特に福井市内の破堤により、大きな被害。  
 足羽川の国管理区間でも河道洗掘3箇所。



## 死者3人、行方不明者2人、被害1万4000世帯以上の大被害

### 福井市内の被害状況

①足羽川左岸  
福井市春日（木田橋上流）  
7/18 13:35頃 L=30m破堤

排水ポンプ車  
延べ10台配備

注意：  
浸水面積については、近畿地方整備局のヘリコプターの調査（18日15:40）により推定した面積。

浸水面積：約4km<sup>2</sup>

**〔凡 例〕**

- 国管理河川
- 福井県管理河川
- × 堤防破堤
- 破堤による浸水区域
- 越水・内水による浸水区域

### 福井県 被害状況

	人的被害(人)		住家被害(棟)				
	死者	行方不明	全壊	半壊	一部破損	床上浸水	床下浸水
福井市			22	40	97	3,254	8,058
敦賀市						4	46
大野市						10	48
鯖江市	1	1	4	20	19	445	818
美山町	1	1	33	65		233	156
松岡町						2	5
永平寺町							10
今立町	1		2	6	1	353	584
池田町			4	10	1	20	91
藤白町							6
宮越町							3
清水町	1					4	52
<b>計</b>	<b>3</b>	<b>2</b>	<b>65</b>	<b>141</b>	<b>118</b>	<b>4,325</b>	<b>9,878</b>

福井県調べ 8月2日9:00現在

#### 破堤箇所付近

足羽川左岸破堤部（7月18日撮影）

#### 浸水状況

足羽川左岸福井市内（7月18日撮影）

#### 破堤箇所付近

足羽川左岸福井市内（7月18日撮影）

#### 破堤箇所付近

足羽川左岸福井市内（7月18日撮影）

## 河川管理施設等の被災状況（清滝川・足羽川・一乗谷川・河和田川）

### 他の地域の被害状況

清滝川左岸が破堤 大野市友江（18日撮影）

足羽川右岸堤防が護岸破損（19日撮影）

美山町高田  
JR越美北線  
第4足羽川橋流失

町道田尻橋流失

護岸破損

足羽川が越水し、堤内地を流下  
美山町高田上空（18日撮影）

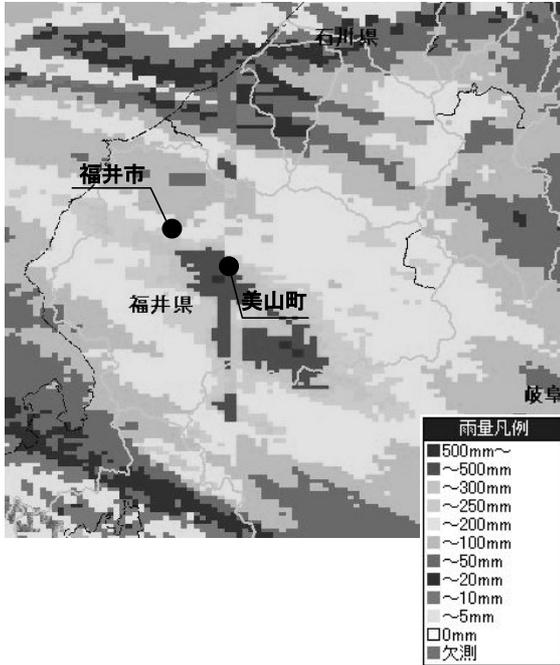
一乗谷川を閉塞した土砂の撤去状況（22日撮影）

一乗谷川が土石により閉塞したため、家屋を流下  
福井市浄教寺町上空（20日撮影）

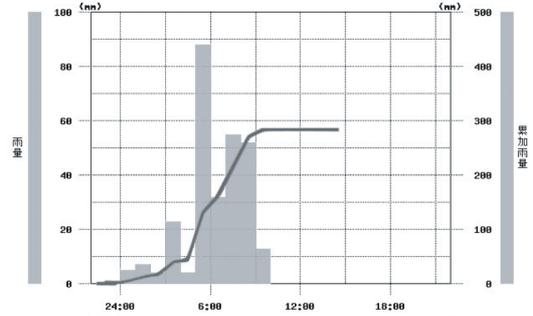
河和田川が越水し、堤内地を流下  
鯖江市河和田町上空（19日撮影）

前線の停滞により狭い範囲に集中豪雨をもたらし、  
福井県美山町を中心に豪雨を観測

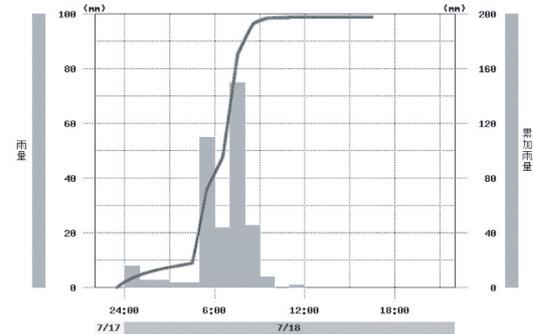
累加レーダー雨量(18日0~24時)



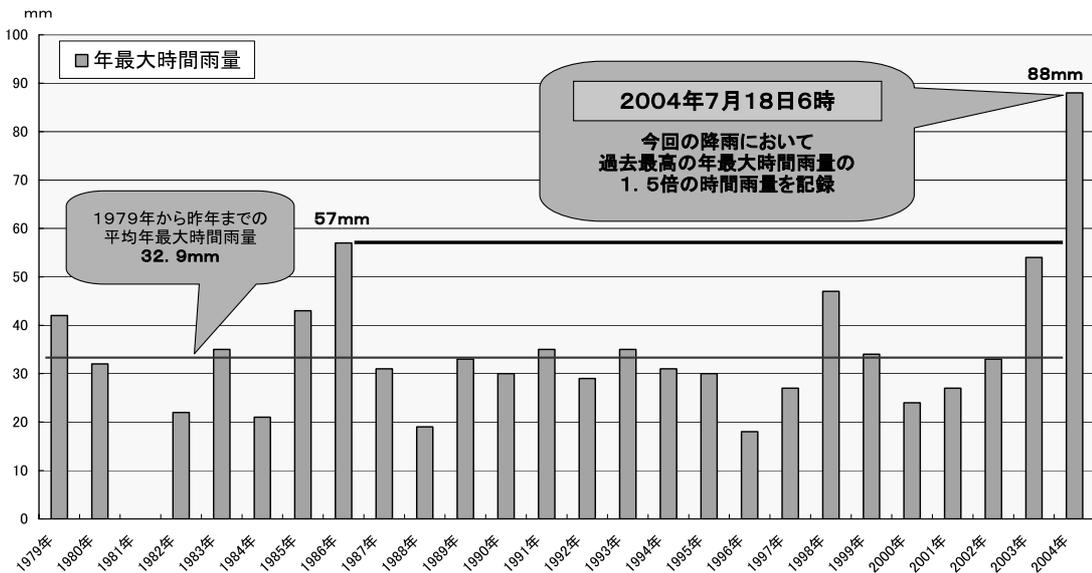
美山観測所(気象庁)



福井観測所(気象庁)

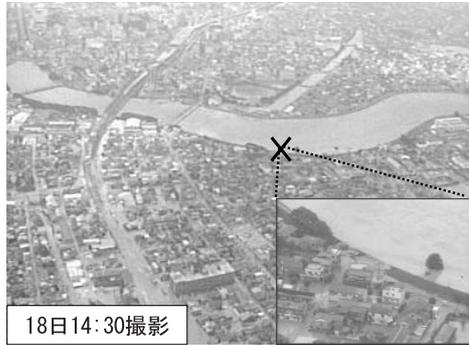


美山雨量観測所(気象庁)における雨量データでは、1979年以降、  
最も多かった1986年の年最大時間雨量の約1.5倍を記録

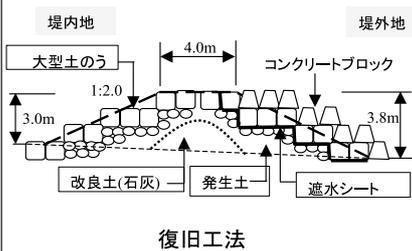


破堤箇所の災害復旧状況（足羽川 福井市内） 20日3時30分仮復旧完了

◇被災状況◇



◇復旧状況(20日3時30分仮復旧完了)◇

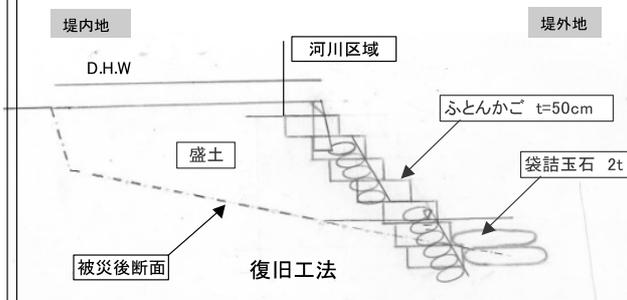


直轄管理区間の緊急復旧状況（足羽川美山町西河原地先）

◇被災状況◇



◇復旧状況(7月31日復旧完了)◇



# 堤防等の河川管理施設の緊急点検について

河川局治水課

先般の「平成16年7月新潟・福島豪雨」及び「平成16年7月福井豪雨」では、河川堤防の破堤等により甚大な被害が発生したところです。

国土交通省においては、出水期における出水対策については、平成16年5月26日付け「出水期における防災対策について」、同月27日付け「出水対策について」並びに同年6月11日付け「出水期における防災態勢の強化について」により、各地方整備局及び都道府県に対し、既に通知しているところです。

これから本格的な台風期を迎えるにあたり、堤防等の河川管理施設の状態を再度確認するため、目視による緊急点検を8月中に行うこと、必要に応じ修繕工事その他の適切な措置を講ずること等について、7月23日付けで関係機関に通知致しました。

なお、具体的な緊急点検項目としては、右表をご参照下さい。

## 通知先

平成16年7月23日付け河川局治水課長から  
 北海道開発局 建設部長  
 沖縄総合事務局 開発建設部長  
 各地方整備局 河川部長  
 各都道府県 河川事業担当部長  
 札幌市建設局長  
 横浜市下水道局長  
 大阪市建設局長 あて

## 目視による緊急点検項目

点検箇所	点検項目
高水敷、低水護岸	<ul style="list-style-type: none"> <li>低水護岸の基礎部の変状</li> </ul>
堤防表のり面、高水護岸	<ul style="list-style-type: none"> <li>張芝の状況や人畜による踏み荒らし、車両のわだち状況</li> <li>のり面の亀裂</li> <li>護岸や侵食防止シート等、耐侵食構造物の変状</li> <li>護岸の基礎部の変状</li> <li>坂路・階段取付部の洗掘、侵食</li> <li>モグラ等の小動物の穴</li> </ul>
堤防天端	<ul style="list-style-type: none"> <li>亀裂</li> <li>局所的に低い個所の有無</li> <li>天端舗装端部の状況</li> </ul>
堤防裏のり面	<ul style="list-style-type: none"> <li>張芝の状況や人畜による踏み荒らし、車両のわだち状況</li> <li>のり面の亀裂</li> <li>小段の逆勾配個所や局所的に低い個所の有無</li> <li>坂路・階段取付部の洗掘、侵食</li> <li>モグラ等の小動物の穴</li> </ul>
裏のり尻	<ul style="list-style-type: none"> <li>表層付近の湿潤状態</li> <li>局所的に低い個所の有無</li> <li>しぼり水の有無</li> <li>モグラ等の小動物の穴</li> <li>堤脚保護工の変形</li> </ul>
堤脚水路	<ul style="list-style-type: none"> <li>水路の変形、沈下</li> </ul>
堤内地	<ul style="list-style-type: none"> <li>表層付近の湿潤状態</li> <li>噴砂の跡</li> </ul>
樋門等構造物周辺	<ul style="list-style-type: none"> <li>取付け護岸の変形・クラック</li> <li>施設周辺の堤防との段差（抜けあがり）</li> <li>胸壁・翼壁等の部材接合部の開口</li> </ul>

地方からの声

川の町



全国治水期成同盟会連合会監事  
三本木町長 佐藤 武一郎

川の町苦悩

時間雨量80ミリ、1日総雨量360ミリ。6月30日静岡市を、更に、7月13日には1日の雨量420ミリの新潟県地方から福島県、7月18日の福井県の記録的な集中豪雨のあの惨状のニュースに戦慄を覚えるのです。もしも、わが三本木町に襲来したらどの様にすればいいのだろうか。どのように救助すればいいのだろうかと考えるだけでゾッとします。時間雨量50ミリでも全くなす術を持たない気がします。温暖化現象なのでしょうか、この頃は東北地方でも毎年のように予想を超える集中豪雨の被害を蒙るようになっています。

三本木町は、1級河川の鳴瀬川とそれに合流する同じく1級河川が多田川との囲いの中にある町で、二つの流れがもたらした肥沃な沖積地は、ささにしき、ひとめぼれの生産地であり、大型工場や商業施設、住宅地など町の大半はこの区域内にあります。

この恵みをもたらす二つの流れは、いまだに暫定堤防であり改修工事は捗らず、いつ、一瞬にして悪魔の流れに変わるのかと思うだけで恐ろしくなります。梅雨前線、台風、秋雨前線と春から秋まで雨の予報に慄き心の休まることがない、まさに川の町の町長の苦悩は尽きることがないのです。

川の子哀歓

鳴瀬川の堤防を背にした家に生まれました。桑折江土地改良区の取水口の傍で用水路が屋敷内を流れています。この水で産湯を使いました。もの心がついた時は鳴瀬川で遊んでいました。春先から川鱒を追う大人たちの後を追っかけはじめて、鯉、ふな、なまず、うなぎ、鮎、蟹、秋の鮭まで、それは遊び

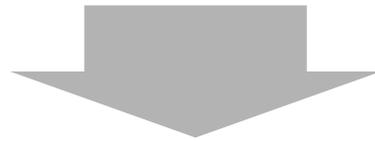
であり、大事な蛋白源を得る、生活の知恵を身に付けた事でもありました。

朝の早いうちに一日の飲み水を汲み置き、この水でお茶を入れて、この水が一番だと大人たちは誇らしげでした。野菜を洗い、衣類を洗濯し、農機具を洗い、牛、馬も洗いました。

春、田んぼに水を引くころ決まって、川止め工事



平常時の鳴瀬川



鳴瀬川の増水状況

がありました。1,400ヘクタールの用水です。蜘蛛の子を散らしたように人が集まり、粗朶を編み、土俵を作り、杭を打ち、流れに負けないように一気に締め切るのです。歓声が上がります。まさに感動の光景を毎年見て育ちました。

横殴りに叩きつける土砂降りの雨、もりもりと盛り上がり過ぎて渦巻く濁流、家よりも高くなって矢のように流れ下る鉄砲水、恐ろしさに体がこわばり、ハッと目を覚ます。子供のころから身に沁みてしまった恐怖心なのです。川の氾濫が心配になると、年寄り、子供、牛や馬を向山の親類に預け、米、味噌など食料品や生活用品をしっかりと括りつけ、恐怖と緊張でジリジリと過ごしたものでした。

川は有難いもの、川は恐ろしいもの、川は生命の源、川は文化の泉です。川を愛し、川を大事にする町民は毎年3月決まって「ラブリバー大作戦」を行います。町民総出で、鳴瀬川と多田川の二つの流れを大掃除するのです。

どこよりも美しい川の町、それが三本木町民の大きな誇りであり、その町の町長は川の子です。

### 川の危機

公共事業はもう要らない。公共事業は無駄だ。都市の金を地方が無闇に使う、など。ここ数年やたらと公共事業、わけても河川関係への非難、悪口、雑言の声が大きくなっています。国会の先生方も都市票に気兼ねしてか、地方で解っても中央では与党の先生方の声もしほみがちです。

しかしながら、この頃は巨大都市機能を麻痺させる都市洪水も大きく問題になってきました。高齢社会は急速に進行しています。自らを守ることが出来ず災害の犠牲になる老人が多くなっています。危険



ラブリバー大作戦

防止は都市も地方もありません。国土の何処も総てに役割があつて、何処に住む人も安全でなければならぬのです。それが、国政の基本であり、社会資本整備であります。

毎年決まって都市も地方も区別なく、大災害が発生して尊い生命、財産を失っています。

生活の近代化、社会の高度化は水の需要を一層高めています。川やダムの改修整備は田舎対策ではありません。災害を防止して国土を保全し、農業用水や工業用水の確保は言うに及ばず今は生活用水、都市用水の安定確保が大きな比重になっています。

急峻な国土は豊富な水資源を効率的に利用することが出来ず、多くは鉄砲水となって災いをもたらす海に流れ落ちて、川は恒に枯渇しているのです。緑のダムには限界があります。年間を通じて水の需要を安定的に確保するには、ダムで貯水し堰で調整することはどの河川も重要であり、そのために治水、利水の両面から綿密に計画された、河川整備計画があるのですが、その進捗は、先生方の牛歩よりも遙かに遅く全く先が見えません。

財政赤字の元凶のように批判される公共事業は、建設国債によって整備されており、ストックとして後世に引き継がれる資産であり、義務的経費に充てられ、そのとき限りで費やされる赤字国債とは大きく性格を異にするものでありますが、一緒くたにされて、不当にも平成10年度以降特に治水事業予算がマイナスに抑制され減額が続いています。また、更に加えて、三位一体の改革は地方が分担してきた、国庫補助負担事業費の削減ともなるもので、正に国家の命題、国家百年の大計である治水事業の危機と断ぜざるを得ません。今こそ、国を憂い、川を愛する同志が全水連に糾合して、社会に、政治に声を大にして行動を起こす時であります。全水連関係各位の一層の奮起を切望して止みません。

### 経歴

- 平成3年4月 三本木町長就任 現在に至る  
 現在 東北直轄河川治水期成同盟会連合会幹事長  
 多田川改修促進期成同盟会会長  
 田川ダム建設促進期成同盟会会長  
 東北直轄ダム事業促進連絡協議会理事  
 平成10年5月 全国治水期成同盟会連合会監事就任

# 河川愛護月間をかえりみて

河川局治水課

国土交通省では、昭和49年から毎年7月を「河川愛護月間」と定め、河川愛護運動を実施しています。

本年度においても、「水辺にやすらぎ 心にゆとり」を推進標語として、各地方整備局、都道府県、市町村が主体となり、全国各地でポスター、チラシ等による広報活動をはじめ、河川のクリーン作戦、絵画・作文のコンクール等、多様な活動が、地域住民、河川愛護団体、関係行政機関等の協力を得て実施され、多数の方々の参加をいただきました。

月間中に行われた行事等の成果を踏まえて、今後

とも、地域住民、市民団体等と協力した流域全体の良好な河川環境の保全・再生への取り組みを積極的に推進するとともに、年間を通して、国民の河川愛護意識の醸成に努めてまいりたいと考えております。

また、今年は、これらの活動に加え、河川愛護月間の推進標語の募集を9月20日まで行っており、小・中学生新聞紙上へ広告を掲載する等、引き続き広く募集活動を行っております。



「荒川」水生生物調査



「利根川」クリーン作戦

## 平成16年度河川愛護月間における主な行事

地区	主催者	行事名	実施月日	場所	内容	参加人数
北海道	豊平川リバーフェスティバル実行委員会	豊平川リバーフェスティバル	7月25日	豊平川河川緑地	水環境コーナー、河川愛護月間PRコーナー、マイリバーアート展示、クリーンアップ作戦、その他各種イベント	約35,000人
	石狩川フェスティバル実行委員会	第14回石狩川フェスティバル	7月11日	石狩川 北旭川大橋下流	北旭川大橋下流右岸河川敷地広場で各種イベントを行う。当開発建設部は災害対策車の展示等を行う。	約30,000人
東北	山形県および県内市町村	きれいな川で住みよいふるさと運動『県民河川海岸愛護デー』	7月4日	各市町村が選定した河川・海岸(約500箇所)	<ul style="list-style-type: none"> <li>河川、海岸の美化及び愛護のための啓発運動</li> <li>県民の参加を得ての河川敷及び海浜地の清掃、空き缶やゴミの収集、除草作業、草花の植栽等の愛護活動</li> </ul>	約150,000人
	最上川活用地域活性化推進協議会	最上川フェスタ04	6月27日	山形県大江町・寒河江市・中山町	カヌー又はゴムボートによる川下りや、子供を対象にした最上川に関する施設等の見学会、河川愛護のイベント等を実施する。	約2,000人
関東	渡良瀬遊水池花火大会実行委員会	第11回渡良瀬遊水池花火大会	8月	谷中湖 古河スプリングス	河川愛護の仕掛け花火	約350,000人
	富士川流域連絡会(事務局・甲府河川国道事務所)	富士川流域一斉清掃	7月3日	富士川流域	富士川流域における不法投棄の絶滅を図り、水環境の改善と河川美化、愛護の啓発を行う。	約20,000人

地 区	主 催 者	行 事 名	実施月日	場 所	内 容	参加人数
北 陸	金沢河川国道事務所 手取川クリーン大作戦実行委員会	手取川クリーン大作戦	7月中旬	手取川	川の環境に直接ふれ、川の美化運動を行う中で、河川環境美化及び河川愛護思想の啓蒙を図る。	約 3,000人
	2町1ヶ村 川の祭典委員会	2町1ヶ村「日橋川・川の祭典」	7月下旬	日橋川	イベントを通じ、子供たちをはじめ広く地域の人たちに阿賀野川・日橋川と人々の暮らしとの関わりを学習し、川を大切にすることを育み、かつ地域交流の活性化を図る。	約 20,000人
中 部	アクアフェスタ2004開催本部（豊橋河川事務所他）	アクアフェスタ2004	7月25日	豊川周辺他	水にまつわる様々な事柄を通じて学習したり、豊川の周辺を散策したりして、水の大切さを再考する。	約 7,000人
	静岡県熱海土木事務所 静岡県東部農林事務所 伊東市	奥野ダム一日ダム教室	7月24日	伊東市鎌田 奥野ダム	ダム施設案内 流木アート さかなつかみどり	約 7,000人
近 畿	琵琶湖河川事務所	第23回野洲川冒険大会	7月4日	守山市 野洲川左岸河川敷	クリーンアップ（ゴミ拾い）	約 3,000人
	福井河川国道事務所 足羽川ダム工事事務所 九頭竜川ダム統合管理事務所 福井県、福井市	「川に出かけてみませんか」	7月11日	九頭竜川 天池河川公園	児童を対象にしたイベントを行い、楽しみながら河川愛護思想を理解してもらう。会場では河川愛護に関する標語の表彰式等を行う。	約 1,500人
中 国	防府健康福祉センター管内 環境衛生連絡協議会 防府市環境衛生推進協議会 徳地町環境衛生推進協議会	佐波川・島地川・横曽根川一斉清掃	7月4日	佐波川 島地川 横曽根川	河川沿岸の自治会、団体等において佐波川・島地川・横曽根川のゴミ拾いおよび河川公園の除草及び清掃を行う。	約 4,600人
	クリーン太田川実行委員会	クリーン太田川 クリーン太田川 中央セレモニー	7月25日	太田川流域	太田川流域4市7町村2団体と広島県および国土交通省太田川河川事務所、温井ダム管理所で実行委員会を構成し、支川を含む30河川100kmを参加予定170団体22,000名が河川清掃を実施する。また、クリーン太田川河川一斉清掃に先立ちセレモニーを行い、河川愛護団体の表彰を行う。	約 22,000人
四 国	大洲市・大洲ジュニアトライアスロン大会実行委員会	第10回大洲ジュニアトライアスロン大会	7月25日	肱川右岸緑地公園	小学3年生から高校3年生までを対象にトライアスロン大会を開催 小学生はスイム100m、バイク6km、ラン2km、中学生以上はスイム200m、バイク10km、ラン4km	トライアスロン参加定員 150人
	浦戸湾・7河川一斉清掃実行委員会	第16回浦戸湾・7河川一斉清掃	7月25日	高知市内一円 浦戸湾および7河川	港湾、川岸、堤防のゴミ等の清掃を高知市民が参加して実施する。	1万人以上
九 州	川を守り水辺に親しむ会	第17回河川愛護デー	7月4日	番匠川および市内全域	空缶、ごみ拾いを主とした河川清掃	約 8,000人
	リバーフェスタのべおか実行委員会	リバーフェスタのべおか	7月25日	延岡市内 大瀬川河川敷緑地公園	「ふるさとの川、再発見」。川辺の楽しさをワークショップ等を通じて実感。ワークショップは主に子供を対象に「カメラをつくらう」「川プール」「川を渡ろう」等	約 1,000人
沖 縄	沖縄総合事務局 沖縄県 沖縄県治水協会 (社)沖縄建設弘済会	第18回 図画・作文コンクール作品展示会	7月下旬	那覇市内デパート	県内小中学校生を対象に河川及び海岸等に関係する絵画・作文コンクール・展示会を行い、河川等に対する愛護精神の高揚を図る。	約 2,000人
	沖縄県南部土木事務所 那覇市	河川清掃活動	7月9日	国場川	清掃活動を通じ、地域住民の河川に対する親しみ・愛護精神の高揚を図る。	約 200人

## 第55回利根川治水同盟治水記念大会の開催

利根川治水同盟治水大会は、第55回を迎え記念大会として、林幹雄利根川治水同盟会長（国土交通副大臣）、三ツ林隆志同副会長（衆議院議員）のご出席のもと、利根川水系の1都5県の多くの関係者が参加して、盛大に開催されました。

- 1. 日 時 2004年8月6日(金)
- 2. 場 所 太田市民会館（群馬県太田市）

大会の前に、おおた芸術学校付属オーケストラ「ジュネス」によるウエルカム演奏があり、水害体験談のビデオが上映されました。

大会は、三ツ林隆志副会長の開会宣言にはじまり、林幹雄会長、後藤新群馬県副知事（開催県代表）の挨拶がありました。

続いて土屋彰男河川局次長が国土交通大臣の祝辞を、矢口昇群馬県議会議長が祝辞を述べた後、来賓が紹介されました。

以下、大会次第は次のとおりであります。

意見発表 太田市長 清水 聖義  
 三位一体改革に関連して、川で言えば源流（川のもと）を大切にすることが根幹であるように、地方も地域、町村を育む心が県、国を発展させることに繋がるのではないかと格調高く発表されました。

大会宣言 尾島町長 相澤 邦衛  
 大会決議 本庄市長 茂木 稔  
 （治水同盟副会長）

次期開催都市挨拶 佐倉市長 渡貫 博孝  
 治水近況報告 関東地方整備局河川部長 松本 直也

最後に、歌手の千葉紘子さんの講演「一滴の水と人の命」を聴いて散会いたしました。

### <全水連だより>

#### 平成16年度地方治水大会の会場等の変更

機関紙「治水」第613号（4月号）8ページ掲載の平成16年度全水連行事予定中、次の地方大会の会場等が都合により変更となりましたので、お知らせ

いたします。他の地方大会は変更ありませんので、お間違いのないようにして多くの方々のご参加をお願い申し上げます。

地 区	開 催 月 日	会 場	
		変 更 前	変 更 後
東北地方治水大会	10月22日（金）	山形市	山形市ホテルメトロポリタン山形
中国地方治水大会	10月25日（月）	松江市	出雲市ビックハート出雲
九州地方治水大会	11月1日（月）	熊本市熊本県民交流館	熊本市熊本テルサ